

2008(平成20)年9月3日

館外講座だより2

那珂川と棚田のバスツアー



葛飾区郷土と天文の博物館

今回のツアーは、栃木県北東部、八溝山中にある棚田地帯を訪れました。日本の原風景ともいわれる棚田の景観と耕作の実態を学びました。現地でご案内いただいた大町さん、お話いただいた安井さんに御礼申し上げます。

また通過地点の茨城県笠間では石切り場を遠望し、人車鉄道と葛飾の関連、さらに増水した江戸川や那珂川の「やな」を見ることができました。参加したみなさんの視点から、もう一度、今後の日本農業のありかたや風土の差を再認識してください。



画 田口峯子さん

TOUR DATA

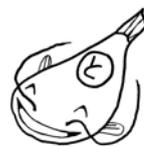
時間	経過	所要時間
7:55	博物館出発	
8:12	四つ木IC	
8:26	三郷料金所	
9:10	友部SA	15分
9:30	友部JC	
9:43	笠間西IC	
10:45	石畑の棚田	40分
11:45	入郷交流センター	70分
13:05	国見の棚田	25分
13:50	大瀬やな	30分
14:40	馬門の滝	車中見学
14:50	道の駅もてぎ	30分
16:07	友部IC	
16:52	守谷PA	25分
17:20	三郷料金所	
17:45	博物館到着	
内山観光バス フェニックス号 ドライバー・寺嶋さん		
走行距離：309km		
応募78人、キャンセル3人、参加47名		
参加費2700円、見学実費0円		

みなさんの一句から
よい天気 これからの人生 パーフェクト
秋日差し こがねの色の 段々と
棚田には ブッドレアのこりて 稲ほまっ
石畑の 棚田に飛び交う イナゴかな
那珂川に 棚田のうねり 鮎を見る
木陰まで 走って見学 棚田めぐり
里山の 秋をみつけに 茂木旅
涼風に トンボがあそぶ 棚田かな
ひさびさの 残暑をカエル かんじけり
山からの 湧水したたり 青々と
みごとに穂をさげる 茂木の棚田



みなさんのアンケートから

那珂川と棚田のバスツアーにご参加いただきありがとうございました!



石畑の棚田



入郷棚田保存協議会 会長 大町弘志さんのお話

○説明が大変興味深く、初めての体験で楽しいひと時でした(初参加)。

○実際に見たのは初めてで、黄金色になろうとする稲穂に感動した。

○雨の後の美しい棚田を晴天のもと見られて幸せでした。日本全体の棚田の話もよかった。

○トンボ、バッタ、イナゴ・・・小さな生き物たちが共生していることを実感。

○よく整備されていて、地域の人達とオーナーの交流の効果が現れていた。



大町さん



棚田学会 安井一臣さんのお話



国見の棚田

○急な斜面に田を作るのは大変だと思う。あぜを歩いてとてもよくわかる。

●石畑とは別に又ちがった角度での美しさを感じました。

●このまま、この時間にずっと浸っていたいという気持ちでした。そののどかさに感激(初参加)。

●地形を利用する先人の英知に感心する。

○赤ジソはジュースと梅干以外知りません。沢山あったのが不思議です。何に使うのでしょうか(初参加)。

○余り条件の良くない耕作地、今は楽しみながら作業している部分もありますが、昔生きるためだったのだから大変だったと思う(初参加)。

大瀬やな



出水時



平常時 2008.8.22

- 初めてみました。ゆっくり遊びにきたいです。水量が多くて見ごたえがありました。
- 増水で周辺の静かで美しく癒される景色が見られず残念（初参加）。
- 川の水の多いやなは仕事にならないでしょうが、見学には迫力があってよかった。
- あゆの塩焼きおいしかった（初参加）。

自由蘭/その他から・・・

- 今日のツアーは、環境・食糧問題迄考えさせるなかなか深い意味を体験できるツアーだった（初参加）。
- お米・稲の歴史を勉強してみたいと思いました。
- 山あいの集落、里山の風景を楽しみました。安田さんのおっしゃる世界食糧危機に向けても、日本は農業国としての転換ができないかしらと思っています。
- 子供の頃より朝な夕な見上げていた筑波山、頂上より見れば最高です。
- ツアー希望地：大原・大多喜間の人車鉄道(千葉)、富岡製糸工場(群馬)、地震伝説(茨城)、青梅・奥多摩(東京)。

その他、多くのご意見ご感想をいただきました。ちなみに女性○、男性●です！
ご自分の記事おわかりになりますか？

ツアー後記

直前まで天候が懸念されましたが、晴男(鯰)？のおかげで素晴らしい景観を堪能できました。くしくも、通過した江戸川、利根川、小貝川の諸河川は、数日前の大雨の影響で洪水の様相を呈していました。首都圏からわずか150キロ圏内で、人車・棚田・水害・・・と、実に多くの事象を見聞き、学んだ1日でした。実りの棚田はそろそろ収穫の時期を迎えていることでしょう。また、元気でお目にかかれますことを楽しみにしています。

担当学芸員 橋本直子 博物館専門調査員 富澤達三



平常時 2008.8.22

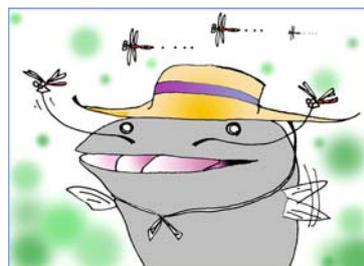
馬門の滝



出水時



常磐道からみた増水した江戸川



葛飾区郷土と天文の博物館

〒125-0063 東京都葛飾区白鳥3-25-1
TEL 03(3838)1101 FAX 03(5680)0849